

令和2年度第2回川口市緑化対策委員会議事録

1 日 時

令和3年2月5日（金）から令和3年3月17日（水）まで

2 開催方法

川口市緑化対策委員会の開催を令和3年2月4日（木）に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議に切り替えて開催することとし、令和3年2月5日に書面会議の通知を委員に送付し、書面表決書を作成の上、事務局あて返送し、議案に対する意見を求める形式で実施した。

- 3 出席者 委員
- | | | |
|--------|--------|---------|
| ◎土屋 一彬 | ○寺山 樹生 | 江村 薫 |
| 杉浦 良二 | 會田 正行 | 平林 貢 |
| 石川 千加子 | 町田 治子 | 水落 誠 |
| 神山 裕則 | 加藤 良江 | 郡 豊 |
| 甲賀 真人 | 齊藤 聡 | 後藤 ロレンス |
- (◎会長 ○副会長)

- 4 事務局
- | | |
|---------------|-------|
| 技監兼都市計画部長 | 川田 昌樹 |
| 経済部農政課長 | 安達 一広 |
| 建設部公園課長 | 高木 圭二 |
| 都市計画部次長兼みどり課長 | 大塩 洋則 |

5 議事録署名人の指名

事務局より議事録作成のため、議事録署名人の指名を会長に依頼し、江村委員の指名を受ける。

6 議 事

議題（1）報告事項

①保存樹木等の指定解除について

「質問・意見なし」

②保存樹木等維持管理経費補助制度について

「質問・意見・回答」

【委員】

この制度を利用している保存樹木等は年間に何件あるのでしょうか。またこれにあてる予算はどれくらいなのでしょう。あまり利用されていない感じがします。

【事務局回答】

保存樹木等維持管理経費補助制度に係る直近3年間の実績につきまして、申請件数は平成30年度に6件、平成31年度に7件、今年度は10件となっております。また、予算額については、平成30年度は150万円、平成31年度も150万円、今年度は156万5千円となっております。

近年頻発している台風等の災害の影響により、所有者の樹木等管理に関する意識の向上が見受けられ、今年度の予算執行率は100%を見込んでおります。

③樹木管理指針（公共施設編）について

「質問・意見・回答」

(I)

【委員】

6つの基本方針に「生きものの生息空間、生物多様性の向上を意識した管理を行う」とありますが、教育施設（小・中学校）においては、特に学校内の植物・生きものは教材としてとても大切なものです。PDCAの中にビオトープの考え方も入れ、Pの中で位置づけ、Dの中で管理できるように、剪定の仕方の講習会は大切かと。Aの中で緑を地域で育てる仕組みに「子どもエコクラブ」の発足なども考えていただけるといいかと思えます。

【事務局回答】

今後、委託業者を集めた剪定講習会等を実施する予定であり、また、ビオトープの考え方や子どもエコクラブの発足につきましては、関係機関と協議して参ります。

(II)

【委員】

2では枝抜き剪定、3では自然樹形と明記することが重要と思えました。

【事務局回答】

指針を反映した樹木管理を行い、質の高い維持管理が実現できるように努めて参ります。

(III)

【委員】

川口市樹木管理指針（公共施設編）の策定については、街路樹編よりも運用し易いと思いますが、施設管理者・利用者・近隣住民の理解が必要だと思います。早期の指針策定と運用を望みます。

【事務局回答】

川口市樹木管理指針（公共施設編）は、今年度策定した後に街路樹編と同様に

市ホームページに掲載し、令和3年度から運用して参ります。今後、樹木管理への問い合わせをいただいた際などに、指針のあり方についてご理解いただくよう努めて参ります。

議題（2）その他

①生産緑地地区について

「質問・意見・回答」

【委員】

減少傾向にあるのは仕方のないことだと思います。

【事務局回答】

相続の発生等の事由により生産緑地地区の面積は減少傾向にあります。毎年、新規の受付を行っておりますので、今後も生産緑地制度の周知を図り、緑地の確保に努めていきます。

②特定生産緑地について

「質問・意見・回答」

【委員】

生産緑地の減少を少しでも抑えられる良い制度だと思います。広く周知し特定生産緑地への移行を推進してください。

【事務局回答】

なるべく多くの皆さんに特定生産緑地の指定申請をしていただけるようにするため、丁寧な情報提供に努めていきたいと考えております。

以上